

藤枝律子先生のご退職にあたって

学長 村井 美代子

本学において、12 年間にわたって「行政法」、「地方自治法」などをご担当いただいた藤枝律子先生が、今年度末をもって定年退職されることになりました。先生は、名古屋大学法学研究科博士課程を単位修得退学された後、2010 年 4 月に法経科専任講師として本学に着任されました。その後、2013 年に准教授、2018 年には教授へと順調に昇格されるとともに、学内行政においては、2019 年 4 月から法経科長を 2 年間務められ、さらに 2021 年 4 月からは附属図書館長兼連携センター長を務めていらっしゃいます。

本学に専任教員として着任される前の 2007 年から、藤枝先生には非常勤講師として「行政法」の講義や演習をご担当いただいておりますので、実質的に本学で教壇に立っていただいた期間は 12 年を超えることになります。現在は、執行部としてご一緒にお仕事をさせていただいており、定年を迎えられる年度末いっぱいまで忙しく重責を担っていただくことになりました。今年度本学が開学 70 周年を迎えるにあたっては、編集委員長として、『三重短期大学開学 70 周年記念誌』を発行していただきました。

以前に FSDS 活動の一環として、藤枝先生の「行政法」の講義を「授業参観」させていただいたことがあります。様々な行政問題について多くの資料を準備し、DVD も活用し、時に教壇を降りて、六法全書を調べる学生にアドバイスをしながら講義室内を歩いておられる姿が印象的でした。

先生がご担当されている「行政法ゼミ」は、毎年サマーフェスティバルと大学祭で出店されており、年度によっては「基礎ゼミ」と「演習」、そして「社会科学演習」のゼミ生それぞれが出店する複数の店舗を掛け持ちで監督され、準備から後片付けまで、学生と一緒に過ごされています。私も行政法ゼミのフリマで、藤枝先生とゼミ生に勧められて買ったムーミンのコットンバッグを今も大切に使っています。

先生は学外の複数の審議会の委員としてもご活躍されており、連携センター長としてもお忙しい毎日ですが、そのお人柄は穏やかで、どれほど多忙を極めても、のんびりとした独特の温かい雰囲気を見失われることはありません。そうしたお人柄を慕って、研究室には頻繁に学生が訪れているようです。

そのような藤枝先生がご退職の時期を迎えられ、本学を去られることは、本当に寂しい限りです。今後ともご健康に留意されつつ、様々な場面で一層ご活躍されることを祈念申し上げますと共に、先輩教員として本学を温かく見守っていただきますよう心よりお願い申し上げます。

藤枝律子先生のご退職によせて

法経科長 大畑 智史

2023 年 3 月をもって、三重短期大学で十数年にわたり奉職されてきた藤枝律子先生が定年退職をお迎えになります。長年の先生のご尽力に対し、学科を代表して深くお礼申し上げます。

藤枝先生は、1996 年 3 月に名古屋大学法学部をご卒業され、2001 年 3 月には同大学大学院法学研究科博士課程前期課程を修了されました。更に、2007 年 3 月には同大学大学院法学研究科博士課程後期課程を満期退学されました。2010 年 4 月に、先生は三重短期大学に赴任され、主に行政法・地方自治法を担当してこられました。また、先生はその分野の研究業績を多く残してこられました。例えば、「地方議会改革の取組：三重県議会基本条例を素材に」（『三重法経』153 号、三重短期大学法経学会、2020 年 12 月）「地方自治体と安保存法制」（『三重法経』147 号、三重短期大学法経学会、2016 年 3 月。）「一般廃棄物処理場建設許可差止請求訴訟における景観利益に基づく原告適格と事前差止め」（『三重法経』146 号、三重短期大学法経学会、2015 年 11 月。）などの研究業績があります。私の専門は財政学で、先生のご専門と重なる点があることもあり、先生の研究業績は関心の持てるものばかりですが、先生の業績を十分に読みこなすことはできません。

学内運営に関しましては、先生は、学科長（2019 年 4 月から 2 年間）、図書館長（2021 年 4 月から 2 年間）などを担当してこられました。先生のご活躍があり、大学が今も存続できているのだということを実感させられます。現在、自身が学科長を担当していますが、先生には常にお世話になっている状況で申し訳ない思いでいっぱいです。また、先生は、自治体における各種の委員会などに参画される形で、学外でも活躍してこられました。先生のご専門は地域社会においてもかけがえのないものです。

その他、先生は大学祭などの学内の各種行事へも積極的に参加されるなど、学生との交流も大事にしてこられた姿は印象深く記憶に残っています。5 年程前の大学祭では、藤枝先生がご担当の演習の模擬店で上着を購入させてもらいましたが、これは今でも冬の学内移動時に利用させてもらっています。

先生がご退職されるのは寂しい限りではありますが、これからも、様々な形で私たちにご指導頂ければと考えています。藤枝先生のますますのご健康とご活躍をお祈りしながら、先生への送別の言葉に代えさせていただきます。